

別記様式

文 書 番 号
令和 年 月 日

山形県知事 氏 名 殿

申請者 住 所 山形市松波二丁目 8-1
団 体 名 山形賑わい作り隊
代 表 者 氏 名 山形 太郎

令和 7 年度山形県中心市街地・商店街活性化支援事業費補助金
(次世代チャレンジ人材育成事業) 応募申請書

標記補助事業について、令和 7 年度山形県中心市街地・商店街活性化支援事業費補助金(次世代チャレンジ人材育成事業) 募集要領第 2 の規定により、関係書類を添えて申請書を提出します。

別記様式第 1 号

次世代チャレンジ人材育成事業 事業計画書

1 補助事業者の概要

団 体 名	山形賑わい創り隊
代 表 者 氏 名	山形 太郎
住 所	山形市松波二丁目 8 - 1
電 話 番 号	0 2 3—〇〇〇—〇〇〇〇
メ ー ル ア ド レ ス	〇〇@〇〇

2 補助事業の概要

(1) 事業名	〇〇商店街謎解きイベント
(2) 実施地域	(市町村) ・ 〇〇市 (事業を実施する商店街等) ・ 〇〇商店街 (実施地域の現状・課題) ・ 空き店舗が増加しており、土日を含め歩行者通行量が少ない。 ・ 商店街の秋祭りは開催されているが、年々来街者が減少している。また、来街者は高齢者が多く、若者が参加していない。 ・ 若者が商店街に訪れたいような仕掛けがない。
(3) 実施体制	(構成人数) ・ 5 名 (事業推進体制) ・ 商店街を盛り上げたい思いを持った大学生による任意の団体が事業を実施する。 ・ 地域活動の経験がある代表を中心に、SNSの活用、経理など、構成員の得意分野を活かして事業を進めていく。 ・ 事業実施にあたっては、商店街関係者との打ち合わせを密に行い、関係者との関係構築を図る。 ・ 団体内では週 1 回企画会議を開催し、他地域での先行事例を参考にしながら、商店街の特色を生かした謎解きの内容とする。 (連携する地域のキーパーソン) ①所属 ・ 〇〇商店街理事長 ②氏名 ・ 松波 一郎 ③事業との関わり ・ 商店街の立場から企画に対するアドバイスをもらう。

	・補助事業者が商店街の組合員と関わりを持ってもつ際、最初の窓口となってもらう。
(4) 事業内容	(事業目的・内容) ・商店街で実施する若者向けの謎解きイベントを通じて若者に商店街を訪れてもらうきっかけを作る。 (実施内容) ・商店街で開催される秋祭りにあわせて、商店街での謎解きイベントを開催する。 ・イベント後も商店街に興味を持ってもらえるよう、謎解きに商店街に関する内容を入れ、単発のイベントで終わらないように工夫する。 ・謎解きイベントには個店からもキャストとして参加してもらい、日頃関わりの薄い若者との関わりを通じて新たな気づきが生まれるようにする。 ・謎解きをクリアした方には、後日商店街で使える特典を付与することでイベント終了後も商店街を訪れるきっかけを作る。 ・イベントの周知にあたっては、SNSでの発信、商店街・大学でのポスター・チラシの設置を行い、若者が多く参加できるような仕掛けを作る。 (広域連携の取組み) ・近隣市町村の商店街にポスター掲示に協力してもらうほか、他地域でのイベントの際にはチラシを配付する。 ・大学の別キャンパスにもポスター・チラシを掲示・配布することで県内各地から若者を集める。
(5) 事業効果	(事業計画書では事業を実施することで期待される効果を記載、事業実績書では計画書と比較した内容について具体的に記載) ・商店街の秋祭りに合わせて、若者をターゲットにした謎解きイベントを開催することで、若者という新たな年齢層が訪れ、既存のイベントとの相乗効果が図られる。 ・謎解きイベントをきっかけに若者から商店街に興味をもってもらうことで、その後の来街者の増加につながる。 ・個店は若者と関わる機会が増えることにより、若者のニーズを踏まえた新たな事業展開につながる。

※ 事業実績書の添付書類：写真、開催案内、チラシ、報告書その他実施状況がわかるもの

(6) 活動計画

年月日	活動内容	場所
R7.7 上旬	企画内容に関する商店街との打ち合わせ（第1回） ※以降も月2回定期的実施	〇〇商店街 交流スペース
R7.9 下旬	イベントの周知開始（SNS、ポスター掲示、チラシ設置）	大学、商店街ほか
R7.10 上旬	近隣商店街のイベントでの周知活動	近隣商店街
R7.10 中旬	謎解きイベント開催	〇〇商店街

R7. 10 下旬	イベントの振り返り	〇〇商店街 交流スペース
R7. 11	イベント後の来街者の状況に関する店舗への聞き取り	〇〇商店街各店舗
R7. 12 下旬	関係経費精算 事業完了	

(7) 経費の配分

(単位：円)

事業経費区分 (具体的内容)	補助対象経費 (A) + (B)	負担区分	
		県補助金 (A)	補助事業者 (B)
報償費 (キーパーソン謝金)	20,000	10,000	10,000
報償費 (協力店謝礼)	50,000	25,000	25,000
報償費 (特典)	30,000	15,000	15,000
旅費 (交通費)	5,000	2,500	2,500
消耗品費 (事務用品)	20,000	10,000	10,000
印刷製本費 (チラシ・ポスター作成)	80,000	40,000	40,000
通信運搬費 (郵送費)	25,000	12,500	12,500
使用料及び賃借料 (会議室使用料)	50,000	25,000	25,000
合 計	280,000	140,000	140,000

3 事業完了年月日 (予定年月) : 令和7年12月

4 振込先口座 (申請者名義のものに限る)

金融機関名	〇〇銀行	口座種別 (該当するものに○)	普通 当座 その他
店名	△△支店	口座番号	1 2 3 4 5 6 7
カタカナ名義	ヤマガタ タロウ		

※ 「カタカナ名義」は、通帳に表記されているもの (例：ヤマガタ タロウ) を記載してください。

※ 通帳の表紙及び裏面 (上記の情報が確認できる表紙をめくったページ) の写しを添付してください。

※ 不要な文字等は削除すること

別記様式第1号の2

構成員名簿

所属	役職	氏名	年度末年齢
〇〇大学〇〇学部	代表	山形 太郎	22
〇〇大学〇〇学部	副代表	村山 次郎	21
△△大学△△学部	経理担当	・ ・ ・ ・	20
△△大学△△学部	広報担当	・ ・ ・ ・	20
△△大学△△学部	広報担当	・ ・ ・ ・	19
△△大学△△学部	—	・ ・ ・ ・	21
△△大学△△学部	—	・ ・ ・ ・	22
△△大学△△学部	—	・ ・ ・ ・	19

※ 必要に応じて適宜行を追加すること

別記様式第2号

収支予算書

《収入の部》

(単位：円)

区 分	金額	内 訳
県補助金	140,000	
当該事業による収入	30,000	チケット収入 300 円×100 人
その他収入		
自主財源	110,000	クラウドファンディングで調達
合 計	280,000	

《支出の部》

(単位：円)

区 分	内容	金額		内 訳 (※3)
		補助事業に要する経費 (※1)	補助対象経費 (※2)	
報償費	キーパーソン謝礼	20,000	20,000	1 回 5,000 円×4 回
報償費	協力店謝礼	50,000	50,000	1 店 5,000 円×10 店
報償費	特典	30,000	30,000	1 店 3,000 円×10 店
旅費	近隣商店街でのチラシ配布に係る交通費	5,000	5,000	1 名 1,000 円×5 名
消耗品費	事務用品費	20,000	20,000	用紙代、インク代他
印刷製本費	チラシ作成費	30,000	30,000	500 枚
印刷製本費	ポスター作成費	50,000	50,000	50 枚
通信運搬費	チラシ・ポスター郵送費	25,000	25,000	500 円×50 箇所
使用料及び賃借料	会議室使用費	50,000	50,000	1 回 5,000 円×10 回
合 計		280,000	280,000	

※1 「補助事業に要する経費」とは、補助事業者が事業を実施するために必要な経費をいう。

※2 「補助対象経費」とは、補助事業に要する経費のうち、補助対象となる経費をいう。

※3 「内訳」には、補助対象経費の内訳を記載（又は資料を添付）

※ 不要な文字等は削除すること

規則別記様式第 1 号

番 号
令和〇年〇月〇日

山形県知事 氏 名 殿

申請者 住 所 山形市松波二丁目 8 - 1
団 体 名 山形賑わい作り隊
代 表 者 氏 名 山形 太郎

令和 7 年度山形県中心市街地・商店街活性化支援事業費補助金
(次世代チャレンジ人材育成事業) 交付申請書

令和 7 年度において、山形県中心市街地・商店街活性化支援事業(次世代チャレンジ人材育成事業)について、標記補助金**140,000**円を交付されるよう、山形県補助金等の適正化に関する規則第 5 条の規定により関係書類を添付して申請する。

規則別記様式第2号

番 号
令和〇年〇年〇日

山形県知事 氏 名 殿

申請者 住 所 山形市松波二丁目8-1
団 体 名 山形賑わい作り隊
代 表 者 氏 名 山形 太郎

令和7年度山形県中心市街地・商店街活性化支援事業
(次世代チャレンジ人材育成事業) 実績報告書

令和〇年〇月〇日付け〇〇第〇〇号をもって補助金の交付の決定の通知があった標記補助事業について、山形県補助金等の適正化に関する規則第14条の規定により、その実績を関係書類を添付して報告する。

別記様式第1号

次世代チャレンジ人材育成事業 事業実績書

1 補助事業者の概要

団 体 名	山形賑わい創り隊
代 表 者 氏 名	山形 太郎
住 所	山形市松波二丁目8-1
電 話 番 号	023-〇〇〇-〇〇〇〇
メー ル ア ド レ ス	〇〇@〇〇

2 補助事業の概要

(1) 事業名	〇〇商店街謎解きイベント
(2) 実施地域	(市町村) ・ 〇〇市 (事業を実施する商店街等) ・ 〇〇商店街 (実施地域の現状・課題) ・ 空き店舗が増加しており、土日を含め歩行者通行量が少ない。 ・ 商店街の秋祭りは開催されているが、年々来街者が減少している。また、来街者は高齢者が多く、若者が参加していない。 ・ 若者が商店街に訪れたいような仕掛けがない。
(3) 実施体制	(構成人数) ・ 5名 (事業推進体制) ・ 商店街を盛り上げたい思いを持った大学生による任意の団体が事業を実施した。 ・ 地域活動の経験がある代表を中心に、SNSの活用、経理など、構成員の得意分野を活かして事業を進めた。 ・ 事業実施にあたっては、商店街関係者との打ち合わせを密に行い、関係者との関係構築を図った。 ・ 団体内では週1回企画会議を開催し、他地域での先行事例を参考にしながら、商店街の特色を生かした謎解きの内容とした。 (連携する地域のキーパーソン) ①所属 ・ 〇〇商店街理事長 ②氏名 ・ 松波 一郎 ③事業との関わり ・ 商店街の立場から企画に対するアドバイスをもらい実施した。

(4) 事業内容	(事業目的・内容) ・商店街で実施する若者向けの謎解きイベントを通じて若者に商店街を訪れてもらうきっかけを作る。 (実施内容) ・商店街で開催される秋祭りにあわせて、商店街での謎解きイベントを開催し、〇〇名が参加した。 ・イベント後も商店街に興味を持ってもらえるよう、謎解きに商店街に関する内容を入れ、単発のイベントで終わらないように工夫した。 ・謎解きイベントには個店からもキャストとして参加してもらい、日頃関わりの薄い若者との関わりを通じて新たな気づき生まれる仕組みを作った。 ・謎解きをクリアした方には、後日商店街で使える特典を付与することでイベント終了後も商店街を訪れるきっかけを作った。 ・イベントの周知にあたっては、SNSでの発信、商店街・大学でのポスター・チラシの設置を行い、若者が多く参加できるような仕掛けを作った。 (広域連携の取組み) ・近隣市町村の商店街にポスター掲示に協力してもらったほか、他地域でのイベントの際にはチラシを配付した。 ・大学の別キャンパスにもポスター・チラシを掲示・配布することで県内各地から若者を集めた。
(5) 事業効果	(事業計画書では事業を実施することで期待される効果を記載、事業実績書では計画書と比較した内容について具体的に記載) ・商店街の秋祭りに合わせて、若者をターゲットにした謎解きイベントを開催することで、若者という新たな年齢層が訪れ、既存のイベントとの相乗効果が図られ、前年度と比較して来街者が〇〇人増加し、〇〇人となった。 ・謎解きイベントをきっかけに商店街に興味を持った若者により、イベント終了後も来街者が増加した。 ・イベントを通じて若者と関わりを持った個店は新たに若者の視点を取り入れた事業を展開し、賑わいが生まれた。

※ 事業実績書の添付書類：写真、開催案内、チラシ、報告書その他実施状況がわかるもの

(6) 活動計画

年月日	活動内容	場所
R7.7.10	企画内容に関する商店街との打ち合わせ（第1回）	〇〇商店街 交流スペース
R7.7.25	企画内容に関する商店街との打ち合わせ（第2回）	〇〇商店街 交流スペース
R7.8.9	企画内容に関する商店街との打ち合わせ（第3回）	〇〇商店街 交流スペース
R7.8.20	企画内容に関する商店街との打ち合わせ（第4回）	〇〇商店街 交流スペース

R7. 9. 5	企画内容に関する商店街との打ち合わせ（第5回）	〇〇商店街 交流スペース
R7. 9. 10	イベントの周知開始（SNS、ポスター掲示、チラシ設置）	大学、商店街ほか
R7. 9. 24	企画内容に関する商店街との打ち合わせ（第6回）	〇〇商店街 交流スペース
R7. 10. 9	企画内容に関する商店街との打ち合わせ（第7回）	〇〇商店街 交流スペース
R7. 10. 10	近隣商店街のイベントでの周知活動	近隣商店街
R7. 10. 18	謎解きイベント開催	〇〇商店街
R7. 10. 30	イベントの振り返り	〇〇商店街 交流スペース
R7. 11. 30	イベント後の来街者の状況に関する店舗への聞き取り	〇〇商店街各店舗
R7. 12. 25	関係経費精算 事業完了	

(7) 経費の配分

(単位：円)

事業経費区分 (具体的内容)	補助対象経費 (A) + (B)	負担区分	
		県補助金 (A)	補助事業者 (B)
報償費 (キーパーソン謝金)	18,000	9,000	9,000
報償費 (協力店謝礼)	55,000	27,500	27,500
報償費 (特典)	33,000	16,500	16,500
旅費 (交通費)	6,000	3,000	3,000
消耗品費 (事務用品)	15,000	7,500	7,500
印刷製本費 (チラシ・ポスター作成)	70,000	35,000	35,000
通信運搬費 (郵送費)	26,000	13,000	13,000
使用料及び賃借料 (会議室使用料)	45,000	22,500	22,500
合 計	268,000	134,000	134,000

3 事業完了年月日（予定年月）：令和7年12月25日

4 振込先口座（申請者名義のものに限る）

金融機関名	〇〇銀行	口座種別 (該当するものに○)	普通 当座 その他
店名	△△支店	口座番号	1 2 3 4 5 6 7
カタカナ名義	ヤマガタ タロウ		

※ 「カタカナ名義」は、通帳に表記されているもの（例：ヤマガタ タロウ）を記載してください。

※ 通帳の表紙及び裏面（上記の情報が確認できる表紙をめくったページ）の写しを添付してください。

※ 不要な文字等は削除すること

別記様式第2号

収支精算書

《収入の部》

(単位：円)

区 分	金額	内 訳
県補助金	134,000	
当該事業による収入	45,000	チケット収入 300 円×150 人
その他収入	9,000	自己資金
自主財源	80,000	クラウドファンディングで調達
合 計	268,000	

《支出の部》

(単位：円)

区 分	内容	金額		内 訳 (※3)
		補助事業に要する経費 (※1)	補助対象経費 (※2)	
報償費	キーパーソン謝礼	18,000	18,000	1 回 3,000 円×6 回
報償費	協力店謝礼	55,000	55,000	1 店 5,000 円×11 店
報償費	特典	33,000	33,000	1 店 3,000 円×11 店
旅費	近隣商店街でのチラシ配布に係る交通費	6,000	6,000	1 名 1,200 円×5 名
消耗品費	事務用品費	15,000	15,000	用紙代、インク代他
印刷製本費	チラシ作成費	25,000	25,000	500 枚
印刷製本費	ポスター作成費	45,000	45,000	50 枚
通信運搬費	チラシ・ポスター郵送費	26,000	26,000	500 円×52 箇所
使用料及び賃借料	会議室使用費	45,000	45,000	1 回 5,000 円×9 回
合 計		268,000	268,000	

※1 「補助事業に要する経費」とは、補助事業者が事業を実施するために必要な経費をいう。

※2 「補助対象経費」とは、補助事業に要する経費のうち、補助対象となる経費をいう。

※3 「内訳」には、補助対象経費の内訳を記載（又は資料を添付）

※ 不要な文字等は削除すること